

ひび



6月号：春の突哨山散策ツアー



4月号：小学校卒業式



9月号：仮装盆踊り大会



8月号：泥んこバレー大会



12月号：書道パフォーマンス



1月号：Good Smile 2014



10月号：中学校学校祭



3月号：エソシカ出前講座



11月号：君の夢プロジェクト



2月号：町民スキー教室



5月号：小学校入学式



7月号：小学校運動会



ふるさと会から

各会では会員を募集しています。
各連絡先または比布町役場総務企画課へ
お気軽にご連絡ください。

あさひかわ 比布同郷会

■会 長員 合田春夫
■会 約 350人
■総 会費 毎年1回
■会 4,000円程度
■連絡先 宮崎重吉
☎ 0166-32-5218

わが故郷一〇〇年によせて

会長 合田春夫

あさひかわ比布同郷会は、昨年創立六十周年を迎え、ちょうど故郷の歩みの半分ほどになりました。

当会では、五年毎にふるさと訪問を実施しておりますが、その度に史跡・文化財・施設等に触れる中で、素晴らしい変化や発展に驚かされることも、懐かしい思い出や風景が次々と甦ってまいります。

今年も町の協力をいただきながら七月下旬の実施に向けて計画を練っております。
故郷比布は、今も変わらず私たち一人ひとりの心のよりどころです。

一〇〇年を迎えた故郷比布の益々の発展を祈念いたしますとともに、先人のご努力に感謝いたします。



札幌比布会

■会 長員 田中勝三郎
■会 約 400人
■総 会費 毎年1回
■会 5,000円程度
■連絡先 大谷知彰
☎ 011-772-2804

比布一〇〇年をお祝いして

会長 田中勝三郎

一〇〇年を迎え、心よりお祝い申し上げます。

幾多の試練を乗り越え、素晴らしい郷土を築き上げられた先人と、それを脈々と受け継がれている町の皆様に深く敬意を表します。私も離れて暮らす者にとつて「故郷ある」ということは、かけがえのない財産です。

札幌比布会は一〇〇年を迎えた平成六年に創立して以来二十二年目を迎えております。交歓会では、町の方々ともお会いし郷愁を感じ、そして現在・未来について語り、楽しいひとときを過ごしております。最近では若い会員が増えており、札幌比布会の将来が明るく思われます。

比布町の益々のご繁栄と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



東京比布会

■会 長員 牧野 正
■会 約 350人
■総 会費 毎年1回
■会 8,000円程度
■連絡先 深瀬和昭
☎ 0485-54-6765

一〇〇年を迎えるにあたって

会長 牧野 正

「大雪山を仰ぎつつ流れも清き石狩の…」小学校の校歌です。ふるさとを離れて四十七年がたちます。なぜか比布町には十八年しか暮らしていないのに、いまだふるさとの夢を見ます。今では水田の風景もすっかり変わりましたが、比布に帰ったときは、必ず畦道を散策します。子どもながらに田植え・稲刈りを手伝った頃が懐かしくなります。

一〇〇年を迎えるにあたり、本当におめでとうございます。全国でも有名になりました「ゆめびりか」を始め、話題になる産物の開発は関東に住む私たちの自慢の一つです。

東京比布会会員は比布町を大切に思い、遠くにいってもいつても応援しています。



6.13 「びびの路」案内看板を設置

町内村上山から突哨山につながる遊歩道「びびの路」の入口に、案内看板が設置されました。

看板にはかわいらしいカタクリのイラストと大きな文字で「入口」と書かれ、びびの路への入口がわかりやすくなりました（写真右）。また、その裏面は突哨山の案内図となっています（写真左）。

この看板は、比布町ふるさと寄附金によって製作しました。山の豊かな自然をこれからも大切にしていきたいです。ありがとうございました。



比布町図書館が7月に開館10周年を迎えました

図書館の開館10周年を記念し、旭川市在住の絵本作家あべ弘士さんを講師に迎えて、講演会を開催しました。ワニの引越しや象の話など、旭山動物園で25年間飼育係を務めたあべさんの話は、目の前に動物園の風景が浮かんでくるようで、大人から子供まで楽しめる内容でした。また、北極に行った時に見た「しろくま」を基に描いた絵本『ふたごのしろくま』を読み聞かせてくれました。



7.28 記念講演会を開催

たりと本を読んだり、静かな環境で勉強をしたりする利用者の姿が見られます。これからも多くの町民に活用される施設をめざします。

12.10 伊藤町長 無投票で当選

「愛する郷土に安らぎと夢を！」

12月10日に告示された比布町長選挙は、現職の伊藤喜代志氏以外に届け出がなく、同氏の無投票当選が決まりました。

伊藤氏は立候補届出が受理された後、土砂降りの雨の中、福祉会館前で第一声を上げ、減反廃止で揺れる基幹産業の稲作の振興や、高齢者の移動手段の確保などに力を入れる考えを示し、「比布はまだまだ可能性と秘めた魅力のある町だと確信している。比布町を支え続けてくれる人たちが、この住み慣れた町にいつまでも住み続けられる環境をつくっていきたい。そして、物の豊かさよりも、心の豊かさを求め、安全で安心して暮らせる比布町をつくり、元気なまちづくりを目指したい」と訴えました。3期目の任期は、平成26年1月15日から同30年1月14日までの4年間。

まちの出来事 Town News

2013.3-2014.2

- 平成25年3月3日
びっぴるスキー場感謝デーを開催
- 3月17日
あさひかわ比布同郷会が総会を開催
- 3月31日
「びっぴる味菜」が閉店
- 6月13日
「びびの路」に案内看板を設置
- 6月29日
東京比布会が総会を開催
- 6月30日
いちご狩り農園が開園
- 7月7日
札幌比布会が総会を開催
- 7月14日
びっぴる丸ごと水田・泥んこだらけのバレー大会、びっぴる良佳村フェスティバルを開催
- 7月21日
参議院議員通常選挙投票開票
- 7月23日
みんなのびっぴる！未来会議開催

- 7月26日
びっぴる×みなみそうま（福島県南相馬市）青少年体験交流
- 7月27日
としよかんまつり2013開催
- 7月28日
あべ弘士氏講演会（図書館開館10周年記念事業）
- 8月3〜4日
比布中1年の中島朱耶さんが全国中学生選抜将棋選手権に出場
- 8月9日
UFOが弦楽合奏コンサート「弦楽の夕べ」を開催
- 8月22〜25日
比布中3年の五ノ井祐佳さんが全国中学生テニス大会に出場
- 10月19日
びっぴるの食と農を楽しもう！
- 秋の大収穫祭2013
- 11月3日
ひろがり文庫が比布町文化奨励賞を受賞
- 12月1日
びっぴるスキー場オープン
- 12月10日
伊藤喜代志町長無投票で当選
- 1月12日
比布町成人式を挙げる
- 2月22〜23日
比布中1年の藤田晃さん・渡邊真衣さんが全国中学生ソフトテニス大会に出場

歴史を訪ねて

昭和24年6月に、「比布時報」創刊号が発刊されて65年、平成26年3月までに通算して666号の広報紙が発刊されました。
紙面も町政の動きや町内行事のお知らせ、スポーツや文化活動などで活躍している方々の紹介など、「読む」から「見る」、さらに「参加する」広報紙へと変わってきています。



広報紙の発刊

民主主義を基本とする戦後の自治行政は、何よりも民意の尊重が大切でした。

公民館長を兼ねていた宮崎乗雄村長は、健全な民意を育てることの重要性をつねに訴え、その一助として、昭和24年（1949年）6月に、「比布時報」創刊号が発刊されました。始めは公民館の機関誌としてB4判2ページのもので毎月村内の全戸に配られていましたが、26年からは、村の広報紙となりました。

しかしその後、比布時報は有線放送の発足に伴って、専任の担当者不足から、毎月の発行が途絶えがちになった時期もありましたが、やがて定期的な発行と共に内容も充実されていき、有線放送と併せて広報媒体としての機能を果たしていきました。

町の広報紙は「比布時報」として発刊されてから現在（平成26年3月発行）までに、通算して666号が発刊されています。タイトルも、昭和46年（1971年）4月（180号）から「ぴっぷ時報」と平仮名に改まり、さらに平成元年4月（367号）からは「広報ぴっぷ」と改称され、今も町内全戸に配られています。

（参考・比布町史）

発行・編集

ふるさと通信『ぴび』平成26年3月5日発行（通巻第14号）

■発行 比布町

■編集 総務企画課広報係

☎ 078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎ 0166-85-2111（代表） 0166-85-4802（総務企画課直通）

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



まちの人口

総数 3,999人

男 1,891人

女 2,108人

世帯数 1,841世帯

■平成26年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信「ぴび」は、比布を離れられた人と比布を結ぶ情報紙です。
皆さまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。